

「市政懇談会」ご意見・ご要望を紹介します

市民の皆さんから市政に対する建設的なご意見・ご要望をいただき、笠間市の将来について語り合う、「市政懇談会」を市内各地で開催しています。会場に出されたご意見・ご要望の一部を紹介します。(8月3日から8日までの計4回開催分の抜粋)

新市の課題と住民対話について

<質問>

市長選挙時のスローガンは「かさま新時代」ですが、その姿勢を新市行政に反映・象徴させるテーマといたら何でしょうか。また、新市における住民との対話ですが、単なる対話に終わらせず、来年に向けての考え方をお聞かせください。

<回答>

1市2町の対等な合併によって新笠間市が誕生したわけですが、それぞれの制度には違いがございます。それらの制度をいち早く統一し、市民の皆さんと一緒に新しいまちづくりを推進していくため、新笠間市を「新時代」と位置付け、スローガンとして掲げさせていただきました。

また、住民との対話ですが、各地域からの要請があれば積極的に向かい合います。私の考えを聞いていただき、皆さんの考えもお聞きしたいと思います。

<質問>

旧友部町は「福祉のまち」といったように、従来は自治体の特色を生かしたネーミングがありました。新市のポイントとなる特色について見解をお聞かせください。

<回答>

おっしゃるとおり、旧友部町は「福祉のまち」、旧笠間市は「文化・芸術のまち」として自治体の特徴をアピールしてまいりました。新市の特色あるネーミングについてはまだ考えていませんが、旧岩間町は合気道発祥の地でありますので、今後はスポーツの振興なども視野に入れて、いろいろな角度から検討してまいりたいと思います。

市の借金について

<質問>

新聞で行政の財政破綻の記事を目にしますが、新笠間市にはどれぐらいの借金があり、どうやって返済していくのでしょうか。未来に借金を残さない行政が、これからの時代にふさわしいと思います。

<回答>

今年度の一般会計270億円のうち、借入れが30億円、返済が23億円でございます。市役所の借金は一般家庭の住宅ローンなどと同様、長期の中で返していくものであり、借入れと支出のバランスをよくとりながら財政運営をしております。なお、一般財源に占める借金返済の割合を公債費負担比率といいますが、この比率が15パーセントだと黄信号、20パーセントだと赤信号といわれていますが、笠間市は11パーセントで優良な財政運営を行っております。今後も、長期的に安定した財政計画を考えながら取り組んでまいります。

選挙公報について

<質問>

旧笠間の市議会議員選挙では選挙公報が発行されたのでたいへん参考になりました。今後も発行するのでしょうか。

<回答>

旧笠間市同様、今後も引き続き発行してまいります。

岩間駅・友部駅周辺整備の進捗状況について

<質問>

特例債で岩間駅周辺を整備すると聞きましたが、友部駅周辺整備の進捗状況についてもお伺いします。

<回答>

岩間駅につきましては合併特例債と国庫補助金を導入し、平成22年度の完成を目指しており、今年度に駅と通路の設計に入ります。一方、友部駅は合併前から事業化しており、基金と補助事業によって事業を進めています。来年3月には自由通路の完成が予定されています。また、友部駅北側の駅前道路については、平成20年の完成を目標に進めてまいります。

問合せ先／秘書課 広報広聴グループ TEL内線225